

地域密着型金融の取組み状況 (2019年4月～2020年3月)

(金融機関名：鶴岡信用金庫)

(主管部署： 総合企画部地域創生課)

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 項目 | 3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信 (7) 地域や利用者に対する積極的な情報発信 |
| 2. 具体的な取組み項目 | ①当金庫が行う「地域の面的再生への積極的な参画に関する取組み」についての情報を積極的に発信する。 |
| 3. 動機・目的 | 当金庫が行っている地域密着型金融の取組みを、地域や取引者に対して積極的に情報発信することで、当金庫が地域と共存共栄の関係にあることを表明し、地域や利用者からの信頼や支持を高めることを目的とします。 |
| 4. 取組み内容 | <p>【具体的取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当金庫が実施する「地域の面的再生への積極的な参画に関する取組み（地域貢献活動）」について広報課と連携し、新聞や冊子への掲載、Webの活用により広く情報発信しています。 ・地域密着型金融の取組みの目標と実績について、当金庫のHPやディスコロージャー誌を媒体として広く公表しています。 |
| 5. 成果（効果） | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、当金庫が行った地域貢献活動や情報提供活動等については、数多く新聞記事として掲載されたことで地域の方々へ広く発信することが出来ました。 ・当金庫のホームページを活用し、「当金庫の地域貢献活動」、「地域密着型金融推進計画」等について引き続き各々分かり易く情報発信を行いました。 |
| 6. 2020年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題 | <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当金庫が永く実施している地域貢献活動について、地元紙（山形新聞、荘内日報、コミュニティしんぶん等）を活用し、情報発信を行うことで当金庫の活動が地域において広く認知され、結果的に当金庫のブランド力の向上につながっていると考えています。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当金庫が行う地域密着型金融の取組みについて、地域や利用者の評価を正確に捉え、新たな取組みや本業に反映させる仕組みづくりを構築する事が課題であると考えています。 |
| 7. 添付資料 | |
| 8. 備考 | |